



社会福祉法人

# いのちの電話【東京】

vol.  
**154**  
2015.12

2015年度 厚生労働省自殺防止対策事業  
オープンセミナー

## 若者の現状を知る—— 居場所のない子どもたち

～いま、私たちができること～

講師：仁藤 夢乃 氏

一般社団法人 Colabo代表



### 初めに

今、悩みをかかえている女の子たちは適正な相談窓口につながる前に、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）、アプリ、ライン、ツイッター、などで危険な人につながってしまいます。子どもたちは何も知らずに使っているのですが援交おじさんたちも利用します。そのようなアプリは把握しきれないほどあります。

### 少し私のことを話させてください

高校時代は私もいろいろありました。父の単身赴任をきっかけに、母が仕事と子育てのストレスからうつになってしまいました。たまに家に帰ってくる父親と母親は子育てのことでけんかします。母親は荒れて泣いている日もあれば、落ち込んで死んだように寝ている日もある。怒って叩かれたかと思えば抱きしめられたり、虐待と言ってもいいぐらいで、学校から帰ると何があるかわからない…そんな母と顔を合わせたくなく、私は母が家にいるときは、街に出て過ごすようになりました。

近くに母方の祖父の家がありましたが、私はおじいちゃんのことを昔からすごく慕っていたので、荒れている自分の姿は見せたくないと思い、

訪ねなくなりました。祖父はたまに家に来て「学校に行きなさい」とか言ってくれるのですが「もう無理、そんなこと言わないで」という感じで顔を合わせたくなくなっていました。母が唯一相談できるのが祖父だということが分かっていたから、私が相談することで祖父は母と私の板挟みになってしまうと子どもながら思い、何も言えませんでした。愚痴を言ったりできる先生もいたのですが、顔を知っているひとには言いにくいものです。

こんな生活で昼夜逆転もし、お菓子しか食べていなかったり、タバコを吸ったり、お酒を飲んだり、不摂生を続けて体もボロボロでした。学校も「もう頑張れない」という状況になって高校2年生の夏に中退しました。自分でも「このままではだめだ、どうしたらいいのだろう」と思っていたのですが、どうしたらいいのか分かりませんでした。

周囲の大人たちは私のことをどうせ負け組のゴミと思っているという気持ちになっていて、誰にも期待されていないし居場所がないこんな自分の未来には何もないと思っていました。

### 居場所のない女の子につけ込む大人たち

街でたむろしている女の子に声をかけてくる大

人が2種類いました。1つは学校の制服でいても「ホテルに行かない?」「帰るところあるの。泊めてあげようか」などと買春を持ち掛ける男たち。もう1つが危険な仕事に斡旋するスカウトのお兄さんたちでした。「高校生?大学生?」「いま知り合いのお店でバイトを募集しているんだけど」、「全然危なくないお店で風俗じゃないし、高校生も働ける健全なお店だよ」などと声をかけてきます。「キャバクラで働かない?」と声を掛けられたとき「高校生なので」と断ったら「じゃあ、メイドカフェがあるから、そっちで働きなよ」と上手に取り込まれて、いつの間にか働くことになりました。

働いてみて分かったのですがその裏にはいろいろな大人がいて、その店長が児童売春の斡旋をしている違法な風俗店にどんどん女の子を派遣していることに気づいて逃げました。

#### 阿蘇敏文さんという1人の大人との出会い

「高卒認定(高校卒業程度認定試験)というものがあるぞ」ということを聞いて、高校中退者の通う予備校に入り、阿蘇さんに出会いました。阿蘇さんはいびつなままの私をありのまま受け入れ、向き合ってくれて、一緒に汗をかいてくれるような大人でした。「なんでそんな短いスカートを履いているんだ。パンツ見えるぞ」などと言う阿蘇さんは健やかすぎない感じでした。私はフランクな感じで話を聞いてくれる大人と出会えたことで、前を向いていけるようになりました

#### 今、子どもたちの現状

高校生は300万人ぐらいいるのですが、高校中退者は年間約5万5000人もいます。これは高校生全体の約2%に当たります。不登校者も中学校で10万人近くいて、さらに不登校にカウントされない保健室登校や特別室登校の子どももいます。

10代の自殺者も毎年550人を超えていて、これは1日に1.5人が自死しているという計算になります。10代のころ、私も死にたいと思ったことがありましたし自殺した友だちが3人います。そのぐらい身近なことで、今日こそ死にたいと思っている子がこの何倍もいるのではないかと思います。自殺未遂をして、学校に迷惑行為をしたということで私立高校を中退した女の子もいました。

その子はネットで出会った男性に話を聞く振りをされて売春を斡旋する組織に送り込まれてしまいました。10代で妊娠して中絶する女の子がいます。私たちのところには、親の承諾なし、保険証なし、で中絶できる病院はありませんかという相談が結構あります。父親が保険証を管理しているから、妊娠したなんて言えないともたもたしているうち結局、闇の病院に紹介されて、そこでまた組織に借りを作ることになる女の子もいます。

子どもの貧困が6人に1人とされていますが、私は活動の中で実感しています。修学旅行費や給食費がなくても、他者に助けてと言っただけいけないと思っている自己責任論の中で生育してきた子は間違った自立心からそういう危険に取り込まれていってしまいます。虐待家庭の子がかなり多いですが「虐待」として相談しにくるわけではなく、話を聞いてみると「お父さんが怖い」とか言い始めてわかるのですが、「それは虐待だよ」と言うタイミングはとても難しいのです。そう言われると子どもは傷つきますし、誰にも言えない性被害の相談もかなりあります。それも自分に非があるとか、自分も悪いとか思われています。

#### 裸のまま、社会に放り出された子どもたち

そのような子どもたちは自分を守ったり、社会で生き抜いていくためのいろいろな知識やコミュニケーションのスキルを持っていないのです。当り前に身に付いてくると思われるような振る舞いできない子が多いです。背景をわかってもらうことは難しく「なんだ、その態度は」と怒られて終わってしまうので、普通のバイトも難しい。ここでまた自信を失って私は普通のこともできないのだと思ってしまいます。

食卓を囲む経験を持っていない子も多くいて例えば、簡単な鍋料理でさえ見たことがないという女の子とも会ったことがあります。私たちは女の子たちと一緒に料理をすることをすごく大切にしています。それも生きる上でのスキルで、それがあればコンビニのおにぎりより100円でいいものを作れるようになります。高校生はあっという間に親になる世代ですから、このような連鎖を生むのか、止められるかの重要な時期だと思って関わっています。子どもたちの未熟さも含んで育て

いけるような社会が復活していかないといけない  
ということ強く感じています。

### JKリフレ・JKお散歩・JK産業

これ何か、皆さんご存じですか。私が大変重く  
問題視しているJKビジネスについてお話ししま  
す。JKとはJyoshi Koukousei。リフレはリフレ  
クソロジーの略で、個室マッサージ店として営業  
しています。東京では一昨年摘発が入ったので、  
去年から主流になったのが「JKお散歩」という  
ものです。リフレが店舗型なのに対し、お散歩は  
無店舗型で、女の子たちを観光案内のバイトとい  
うことで集めて、秋葉原、新宿、渋谷などで、お  
散歩と称して男性とデートをさせるのです。ネッ  
トカフェやカラオケに行けるので、そこで性被害  
に遭うケースが多くあります。

秋葉原のツクモ通りはごく普通の電気街の通り  
でしたが、夜になると2メートル間隔で女の子が  
立ってチラシを配っています。特徴的なのが、派  
手ではない普通の女の子が人気で、また普通に買  
われていくという現状があります。

このような光景が容認されていること自体がす  
ごく問題です。本当に15歳～17歳の女子高生、  
中には14歳とか中学生もまじって、街に立って  
「私とお散歩どうですか」なんて言っている。そ  
れに対して「僕と食事どう？」とか「夕飯もう取  
った？」なんて当りに声を掛ける仕事帰りのお  
じさんたち。大学生や高校生までもいます。女の  
子たちに聞いてみると、客はほぼ全員が表向きに  
はない違法サービスを「ホテルどう？」などと持  
ちかけてくるのだそうです。そんなことが堂々と  
できる状況になっています。

近頃はスマホが1台あればネットで予約が入っ  
たときだけ出勤する。街に立ってお客さんを引い  
たりする必要がない時代になっています。摘発が  
進んでいるので、どんどん地下に潜って、ネット  
で全部すませようという話になってくるのです。  
この実態は外国から人身取引であると指摘されて  
います。知的にボーダーと言われるような女の  
子、発達障害があるような女の子たちが多く、弱  
い立場にある子や未熟な子どもたちが売春だと知  
らず大人にだまされて利用されているという現状  
があります。いま特別な事情を抱えた女の子だけ  
ではなく、ごく普通の子どもたちにも広がってい

ます。なぜかという、こういう求人情報がネッ  
ト上に沢山あって、情報を判断できない子どもた  
ちは普通のバイト感覚でSNSから入っていくの  
です。保護する立場の大人たちはこの現状の危機  
を知らないひとが多く、追いつけておらず具体的  
に子どもたちを止めることが出来ない状態です。

JKビジネスについて間違っではいけないのは  
子どもたちの後ろで管理する大人がいるというこ  
とです。需要と供給があるからなくなると言  
われますが、この場合は売りたい大人と買いたい  
大人の間での需要と供給です。居場所がない女の  
子や巧みに取り込んで商品化しているわけです。  
お金もないし、家や学校で傷ついて心に余裕もな  
いし、ほかに頼れる人もいない無縁社会と言われ  
るような関係性の貧困のしわ寄せを子どもたちが  
受けているなと感じます。

日本にもストリートチルドレンみたいな子ども  
たちが存在すること。子どもたちを取り巻く危険  
がまだまだ知られていない。そんな子どもたちの  
存在が知られていないので、そこへの支援がない  
ということ。さらにその前には無縁社会と言われ  
る関係性の貧困があるということの問題意識に私  
たちは活動をしています。

### 居場所のない子の居場所

裏社会から学べることはたくさんあると思いま  
す。少しご紹介したいのですが、JKビジネスに  
関わっているスタッフ、子どもたちから見える大  
人というのはたった3人しかいないのです。スカ  
ウトと店長とオーナーです。この3者の連携が大  
変うまくできています。スカウトは街で声を掛け  
たりSNSで声を掛けて、その後子どもたちの伴  
走者のような役割をします。ギャル系ならギャル  
系、全日制高校か、通信制高校か、寮が必要かど  
うかなど細かくところを配り、お店を紹介しま  
す。お店で出会うのが店長です。この人は居場所  
づくりのプロだと思ってください。この人は相談  
に乗って励まして関係性をつくるのがすごく上手  
く、学習支援までできるような人です。その上に  
何店舗かみているオーナーがいます。お店で店長  
と何かあったりするとスカウトが連絡をしてきま  
す。「なんでこんなタイミングで連絡をくれる  
の。私のことをよく分かってくれる」と女の子は  
思うのですが、店長とスカウトは裏で情報共有が

できているのです。「じゃ、おれから店長に言ってやるから」といってなだめたり、親身をよそおって「違うお店に紹介してやるよ」とオーナーが同じお店に紹介していきます。一度引っ掛かると、なかなか抜けられないようなネットになっています。

表社会の支援というのは中退したり、卒業したり、就職したりしたらもう終わり、つないでしまえば先はどうなったのか分かっていないということもよくあります。今度の困窮者自立支援法では、伴走型支援というものが提唱されていますが、それを聞いたときに、もう既にスカウトがやっていることじゃないかと私は思いました。向こうは長い経験を蓄積して、東大卒のような人がマニュアルを作っていますから、負けないように表社会もやっていかなければいけないと思っています。子どもたちは問題を抱えて常に揺らいでいます。つないだ先でだめだったら、また戻ってきて相談してもいいよというような支援が必要だと思います。「またいつでも電話してね」と言ってあげてほしいと思います。

私はこういう子どもたちに必要なのは当り前の日常だと思って関わっています。皆さんに勇気を出してアクセスして来られるようなパワーがある子は困っている子の中のほんの一部です。ぜひ皆さんアンテナを張って子どもたちと関わってください。私は援交おじさんを見習ってくださいということを皆さんに言いたいと思っています。この人たちがすごいのは「うざい、きもい、死ぬ」などと言われてもめげないのです。何度も何度も声をかけて一生懸命やっているその無限にいる援交おじさんや裏社会の人間に負けているということ、悔しいけれども自覚して、負けないように私たちもつながって皆で一緒にやっていく必要があると考えています。「うざい」と思われてもいいのです。「うざい大人」が増えるべきだと思います。そういうお節介な心を捨てずに、これからも子どもたちに関わっていただければと思います。

(文責事務局)

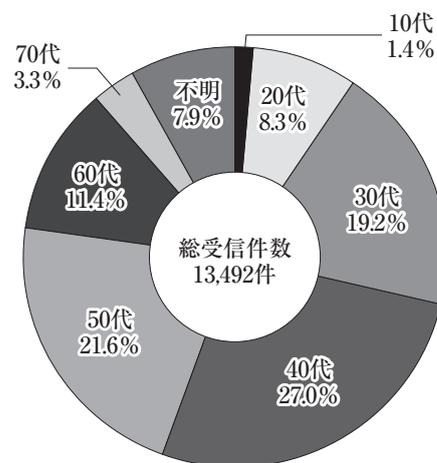


# 2015 (平成27) 年

## ■電話相談

2015年上半期(1月～6月)の電話相談はであった。相談内容については心身の不調や家族が持てないと訴える相談が多く寄せられた。  
自殺傾向：16,8% \*平均通話時間：30.3分

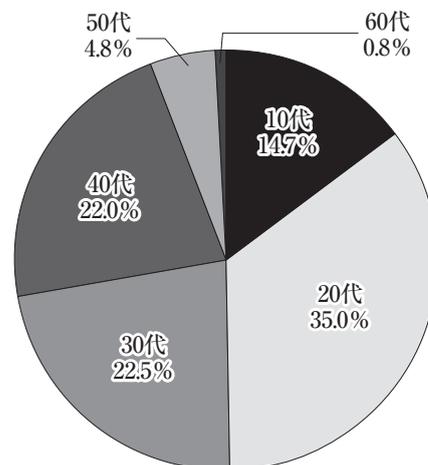
<図1>電話相談年代別件数



## ■インターネット相談

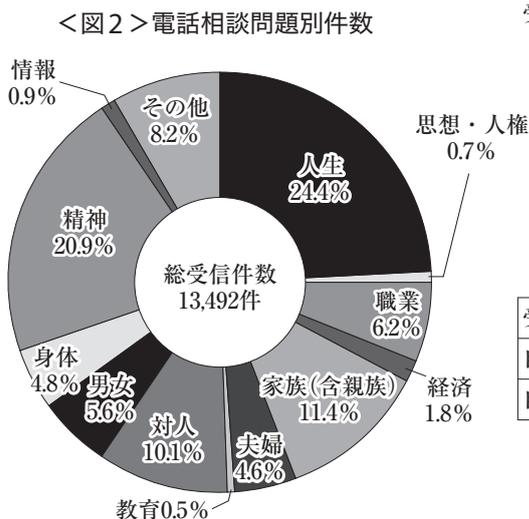
当センターで運営している「インターネット相崎、愛知、奈良、愛媛、福岡の9センターとの協件数は実施センター全体で1,556件(男性493件、女性232件)で1.1ポイント上昇した。また相談を利用した年以上という傾向が続いているが、上半期は特に

<図4>インターネット相談年代別

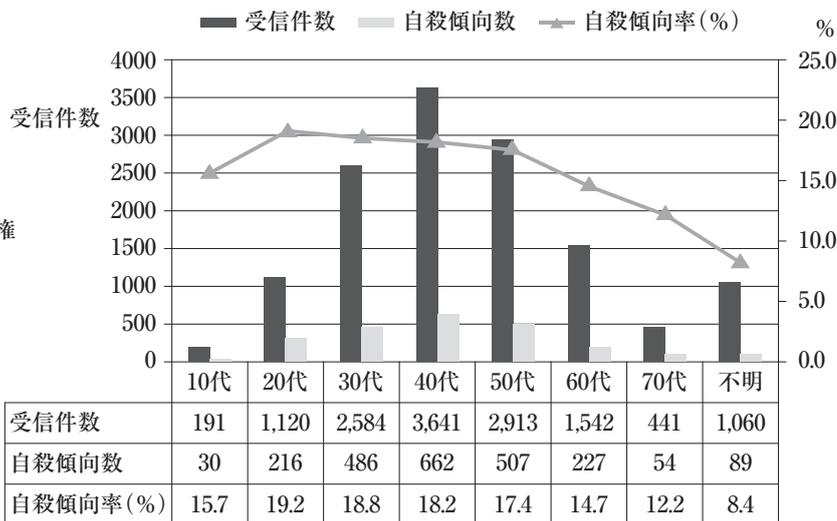


# 1月～6月 相談実績

13,492件（男性5,977件、女性7,515件）  
を含む対人関係などに悩み、この先に希望

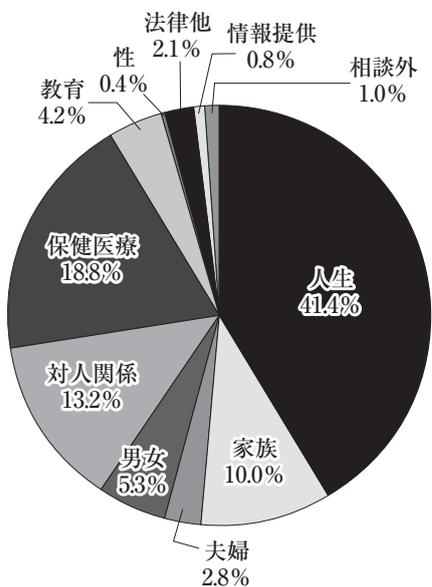


＜図3＞年代別受信件数と自殺傾向率

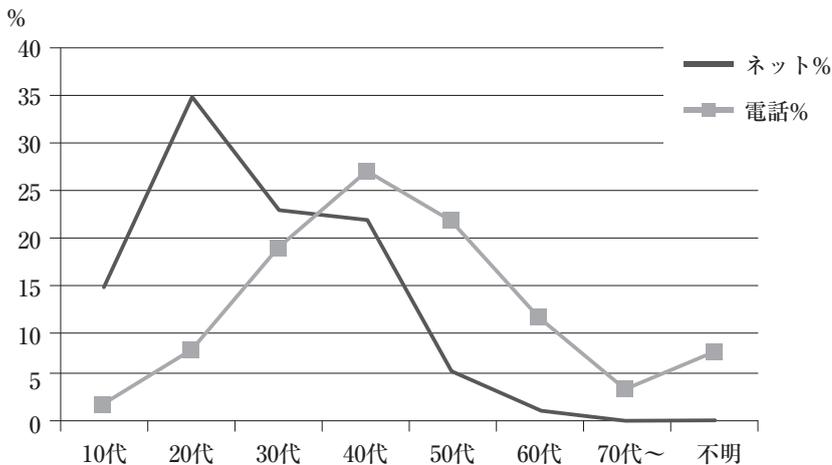


「相談事業」は、盛岡、仙台、新潟、埼玉、川崎により実施している。上半期の相談受信件数（女性1,063件）、内東京センターで対応あった。自殺傾向率は44.1%と昨年平均より10、20代が3.6ポイント増加した。

＜図5＞インターネット相談問題別



＜図6＞電話相談とネット相談利用者の年代別比較



## ご支援ありがとうございます

2015年4月1日より9月30日までに下記の皆さまから暖かいご支援をいただきました。  
一同深く感謝申し上げます、ご報告いたします。(敬称略)

### 企業・団体・宗教法人・学校など 6,392,280円

アジア婦人友好会	100,000	ファイザー株式会社	100,000
一般社団法人霞会館	500,000	UAゼンセン	500,000
一般社団法人日本建設業連合会	300,000	S.J.ハウス	30,000
一般社団法人信託協会	40,000	ケベックカリタス修道女会本部修道院	10,000
一般社団法人全国銀行協会	400,000	聖母奉獻修道院	5,000
一般社団法人日本ガス協会	80,000	聖ドミニコ宣教修道女会東京修道院	5,000
一般社団法人日本自動車工業会	1,000,000	マリアの宣教者フランシスコ修道会	20,000
株式会社博洋エージェンシーサービス	50,000	日本聖公会東京教区	33,507
株式会社マエダ	50,000	ウエスト東京ユニオン・チャーチ	10,000
株式会社JVC.ケンウッド	30,000	本浄寺	8,773
国際ソロプチミスト東京一広尾	5,000	日本基督教団柿ノ木坂教会いずみ会	5,000
公益社団法人東京都宅地建物取引業連合会港区支部	100,000	相愛教会婦人会	5,000
公益財団法人原田積善会	300,000	日本キリスト教団代田教会	10,000
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	300,000	宗教法人救世軍	100,000
財団法人日本メイスン財団	1,000,000	カトリック碑文谷教会	10,000
東京Iゾントクラブ	200,000	(宗)林海庵	50,000
一般社団法人東京弘済会	100,000	一般社団法人学習院桜友会	100,000
日本証券業協会	200,000	コドモの園幼稚園	15,000
日本製薬団体連合会	250,000		
練馬タクシー株式会社	50,000		

### 個人 8,248,312円

相川 喜久枝	石田 市子	上田 紀子	大槻 ひで	傘木 弘之	北村 幸栄	小松 寛之	佐藤 弘乃
相澤 一代	石田 清子	上野 高尚	大鍋 みさお	笠原 雅子	吉川 梅子	小谷津 孝明	佐藤 牧子
相野谷 鷹子	石田 好子	上原 七司	大畑 満里子	梶永 富美枝	木村 裕子	小屋松 一子	澤田 りえ
青木 節子	石塚 泰二	宇賀治 みや子	大浜 光子	梶原 茂子	木山 昭栄	近藤 淳	塩田 純子
青木 千津子	石橋 勇	宇田川 セイ	岡崎 廉治	片山 知子	梶原 結子	斎藤 和香子	塩山 英子
青木 良子	石橋 みゆき	内田 真代	岡田 季美枝	加藤 恵	熊谷 和重	斎藤 友紀雄	志田 俊郎
青鹿 博明	石橋 泰	内山 多美子	岡田 千枝子	加藤 葉子	熊倉 ハルミ	斎藤 昭彦	篠崎 八恵子
青山 由美子	井田 三智子	梅澤 伸嘉	岡野 静江	門倉 春子	熊野 剛雄	斎藤 洋子	篠 智恵子
赤岩 公子	市村 晴子	浦田 素子	岡村 五十男	門田 文子	黒滝 淳一	佐伯 幸子	篠原 政枝
赤津 孝子	伊藤 満子	江尻 宏一郎	岡村 多希子	門野 豊子	慶田 直子	酒井 高男	島田 恒
秋元 満智子	伊藤 英子	江野沢 和枝	岡村 紀男	金平 輝子	小泉 まさ子	坂入 操子	島谷 司奈子
明峯 明子	伊藤 都志子	江幡 園子	小川 栄子	亀山 康子	小泉 豊	坂田 真喜子	島田 正輝
浅井 清	伊藤 三保子	江平 清	尾川 公子	川北 かおり	小泉 良子	坂本 美波	清水 かほる
朝居 健	伊東 嘉子	大生 仁雄	奥田 晃代	河崎 郁子	河野 董	桜井 こう朔	清水 迪子
味岡 奈保子	犬尾 順子	大枝 東樹	奥津 信一	川島 恵美子	桑折 啓子	櫻井 奈保子	清水 裕
安達 良元	犬塚 靖子	大形 通野	奥山 章雄	川島 克子	小堺 三千代	桜井 元雄	志村 節子
荒井 親雄	井上 栄雄	大川 佳子	大栗 ますみ	河田 静子	小崎 和代	佐古 一久	神宮字 剛
荒井 光夫(弘子)	井上 睦子	大川 昌巳(貴子)	尾高 富佐子	河津 緑	越 恵美子	佐合 祐治	進藤 良江
安斉 達雄	今井 實	大越 俊男	小高 富美子	川橋 幸子	顧 哲夫	佐々木 彰子	菅原 裕子
飯島 奉子	今井 八重子	太田 嘉代子	小田切 弘子	川村 多津子	越部 桃子	佐々木 由利子	杉浦 弘輝
伊川 英子	今村 久美子	大竹 信子	織田 牧子	瓦崎 八重子	小島 香	佐々木 庸子	杉本 英子
石井 三智子	今村 恭子	太田 佐喜子	小野口 美知子	神田 千冬	後藤 又三	笹野 吉信	杉山 克好
石井 光子	入川 敦子	大谷 幸代	小野寺 裕子	菊池 汎子	小西 頼子	佐藤 智子	杉山 のり子
石川 忠正(正枝)	岩崎 建治	大和多 豊(喜美子)	織畑 伊都子	菊池 洋子	小林 邦彦(凌子)	佐藤 ヒロコ	相山 房子
石川 義博	岩浪 恒子	大塚 和夫	加崎 久美子	北野 寛子	小林 静江	左藤 浩子	鈴木 悦子

鈴木 馨	竹口 きよせ	筒井 規子	仲元 達雄	濱口 道雄	星野 恭一	宮谷 仁太郎	吉岡 見知子
鈴木 幸四郎	竹崎 長	津村 有紀子	中山 早苗	早川 治子	穂積 みゑ子	向山 康子	吉崎 哲
鈴木 榮	竹中 スミ子	湊元 みさお	長山 忠雄	林 よしえ	堀内 比呂志	村井 あつ子	吉田 君代
鈴木 敏介	竹縄 妙子	露木 多磨子	生木 ヨシミ	原 一司	堀江 久雄	村山 七郎	吉田 靖
鈴木 浩子	田島 祥乃	照内 真知子	成田 喜恵	原田 玲子	堀川 尚武	持田 和正	吉田 尚英
鈴木 正子	田島 照子	寺嶋 知子	鳴海 直子	春木 初枝	本藤 育子	森田 重敏	吉田 光次
鈴木 美香子	田島 三枝子	寺田 和子	南部 雅人	半田 節子	前田 美代子	森田 靖子	善本 圭子
鈴木 幸子	田代 悦子	寺沼 宏	西川 栄子	菱田 昭夫	真壁 玲子	門馬 俊子	米沢 宏
須藤 友枝	田代 悦子	寺本 明男	西川 秀夫	平川 敦子	牧志 功子	八木 祥子	若井 永
盛郷 重光	多田 文代	得居 かつ子	新田 敦子	広瀬 徹也(恭子)	増岡 久美子	安田 はるみ	渡部 実知子
関口 邦興	田中 俊夫	徳善 登世子	二宮 まや	弘世 西二	増田 三千子	安田 展久	渡辺 満枝
関根 真由美	田中 牧子	徳富 悌子	沼倉 美智子	廣戸 直江	町田 豊年	柳井 良子	渡部 真美
仙田 毅	田中 良平	飛田 道子	根橋 剛	福井 田鶴子	町田 裕子	柳坪 正子	和田 幸也
曾根 晶子	田中 カツ子	富岡 真理子	野辺地 きみ子	福田 恵美子	松井 倫子	柳沢 信一郎	
田井 順之	田中 暉通	富沢 みよ子	野村 久仁子	福山 清蔵	松岡 征子	矢野 敦子	匿名 30名
高倉 公朋	田辺 裕子	富永 美智子	野村 紘子	藤井 忠幸	松澤 明子	矢部 恭江	
高桑 明子	谷村 春樹	豊嶋 良一	埜本 信一(恵子)	藤谷 秀子	松谷 洋	山岸 啓一	その他
高嶋 昭子	玉川 邦子	長井 優子	萩原 恭子	藤田 禧	丸山 葉子	山岸 友子	どろんぼ工房
高島 倫子	田村 美恵子	仲 里路	萩原 卓	藤野 貞子	三上 麻子	山極 晶子	
高月 三世子	田和 恭介	長沢 道隆	長谷川 倫子	藤本 千弥子	三上 郁夫	山口 公成	
高橋 廣見	塚崎 誠一	中畷 邦	八村 研三	船田 文継	三崎 美津江	山崎 順子	
高橋 正孝	塚本 迪子	中島 千晶	八村 悠紀子	船津 加代子	三角 洋一	山澤 寛子	
高林 利夫	津久井 定雄	仲野 裕三	服部 洋	古澤 カズ子	水無瀬 隆造	山田 妙子	
高柳 晶子	佃 寿子	仲野 洋子	服部 ひろ子	古田 和子	湊 豊子	山本 多賀子	
高山 和子	津田 宏	仲摩 真途(邦子)	花澤 香代子	古屋 克利	峰岸 順二	山本 雅江	
滝沢 英夫(京子)	土田 春雄	中村 克美	花塚 一弥	古屋 千鶴子	宮内 乃枝	湯川 富士子	
田久保 静雄	土屋 かほる	仲村 邦子	羽生 凱哉	古屋 信子	宮川 浩行(幸江)	湯川 れい子	
竹内 清一	筒井 規子	中村 武照	土生 恭子	古屋 英彦	宮崎 秀雄	横倉 季代	

\*ご芳名の記載もれや誤字などがございましたら、お手数でございますが事務局までお知らせください。

## ご支援をお願いします

いのちの電話は相談員の無償の奉仕で支えられておりますが、24時間365日電話相談を受け付けるには、研修費、広報、事務費、借室料など年間約3,700万円の運営費が必要です。その運営費の大部分が皆様からの尊いご寄付に頼っております。ご寄付には個人、法人ともに税制上の優遇処置がございます。

### ○税額控除について

社会福祉法人いのちの電話に、平成27年11月17日付けで「税額控除に係る証明書」(27千保福総収第195号)が発行されました。これに伴い平成27年11月17日以降の当法人への寄付は、現行の「所得税控除制度」に加えて「税額控除制度」との選択適用が可能となりました。

また収支決算書等は当法人のホームページ、機関誌、事業報告等で情報公開に努めております。

今後とも、社会福祉法人いのちの電話にご理解とご支援を賜りますよう、こころよりお願い申し上げます。

### ☎ご寄付振込先

〈郵便振替〉

00140-3-162972

社会福祉法人 いのちの電話

〈銀行振込〉

三菱東京UFJ銀行 神保町支店

普通口座 1084827

フク)イノチノデンワ

# 東京いのちの電話 後援会

後援会はいのちの電話開局一年後(1972年11月)に、財政面を支えるために結成されました。以来、支援者・支援団体の開拓、チャリティ事業などの活動を続けています。チャリティ事業は、活動資金を得る目的とともに、いのちの電話の活動を多くの方々知っていただくために行っています。

2016年4月に柳田邦男先生の講演を行います。同封のチラシをご覧ください。

今後とも『いのちの電話』の活動がさらに充実したものになりますよう、後援会へのより一層の皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

## ☆今年度(2015)活動

- チャリティ講演会：4月16日(土)・講師：柳田邦男氏・場所：銀座プロッサム
- 恒例チャリティバザー：10月後半を予定



## いのちの電話後援会

連絡先；TEL 03-3263-5794

FAX 03-3264-4949

社会福祉法人いのちの電話内



## いのちの電話

ひとりで悩まないで、  
こころの苦しみを、お話しください。

24時間

[電話相談]

**03-3264-4343**

(24時間受付)

自殺予防

[毎月10日は、フリーダイヤル]

**0120-738-556**

毎月10日8時から翌朝8時まで(24時間・無料です)

[インターネット相談]

<https://www.inochinodenwa-net.jp/>

東京いのちの電話 検索

[東京いのちの電話ホームページ]

<http://www.indt.jp/>



## 相談員募集

詳しくはホームページをご覧ください。

困難や危機にあって、誰ひとり相談する人もなく、自殺などさまざまな精神危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見つけ出すことを願いつつ、よき隣人として活動しています。

いのちの電話の相談員になっていただくには、養成研修受講者応募の手続きを経て、一定期間の研修を修了して認定を受けることが必要です。

活動趣旨に賛同し、電話相談活動に参加出来る無償ボランティアを募集しています。

一緒に活動しましょう。

募集資格：22歳から65歳

募集人数：40名

お問い合わせ：☎ 03-3263-5794(13:00~17:00)

2015年度  
社会福祉法人 いのちの電話【東京】

発行人：森野嘉郎  
TEL：03-3263-5794(代)  
FAX：03-3264-4949  
印刷：(有)牧場印刷

この広報誌は、共同募金からの  
配分金で作りました。

